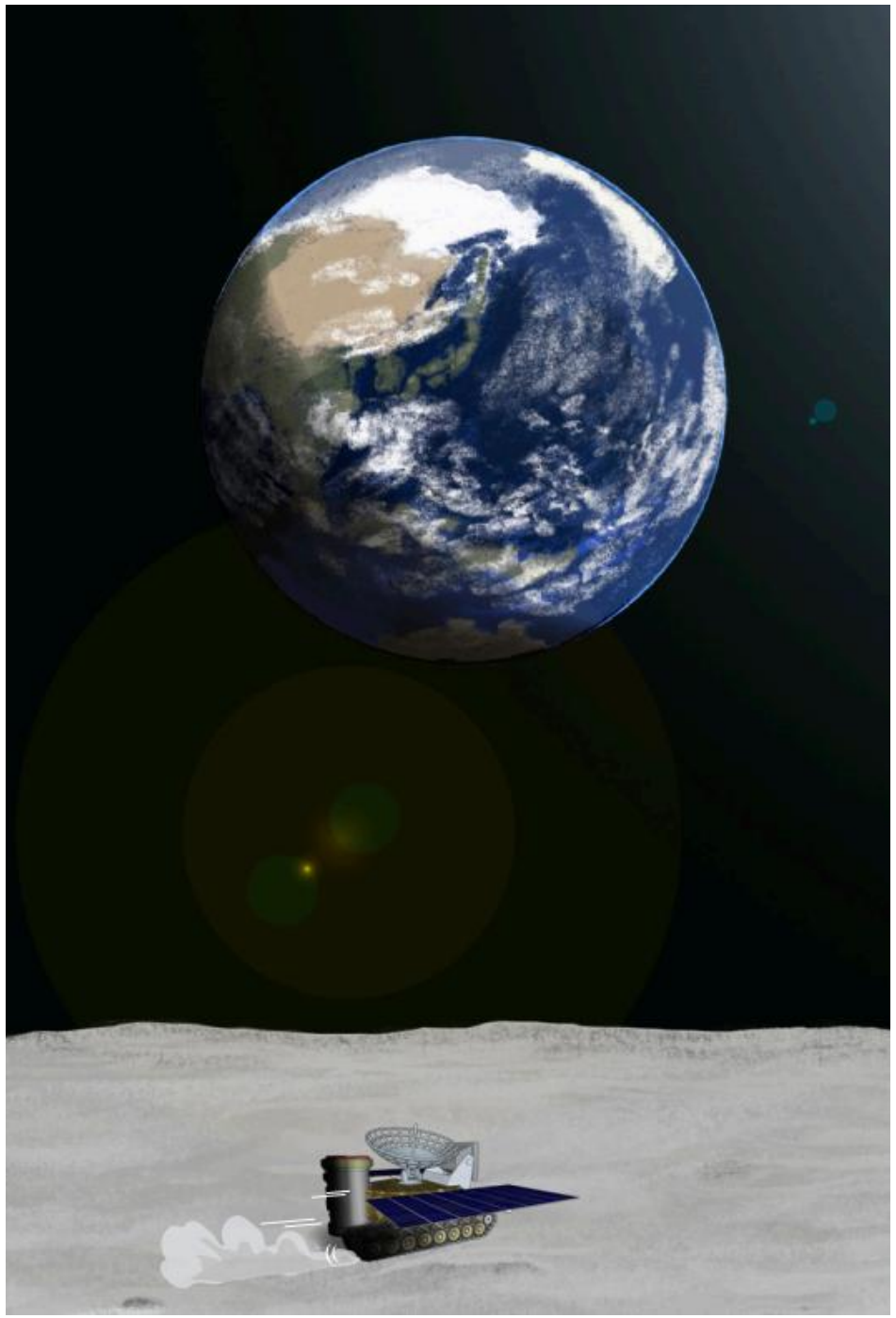


ロボット・自動化/自律化検討WG

2026/07/23 公開シンポジウム

＜参加企業＞ (50音順)

・宇宙開発協同組合 SOHLA
・株式会社 セック
・株式会社 ダイモン
・株式会社 2moon
・有人宇宙システム株式会社

はじめに

われわれのWGは、継続します！！

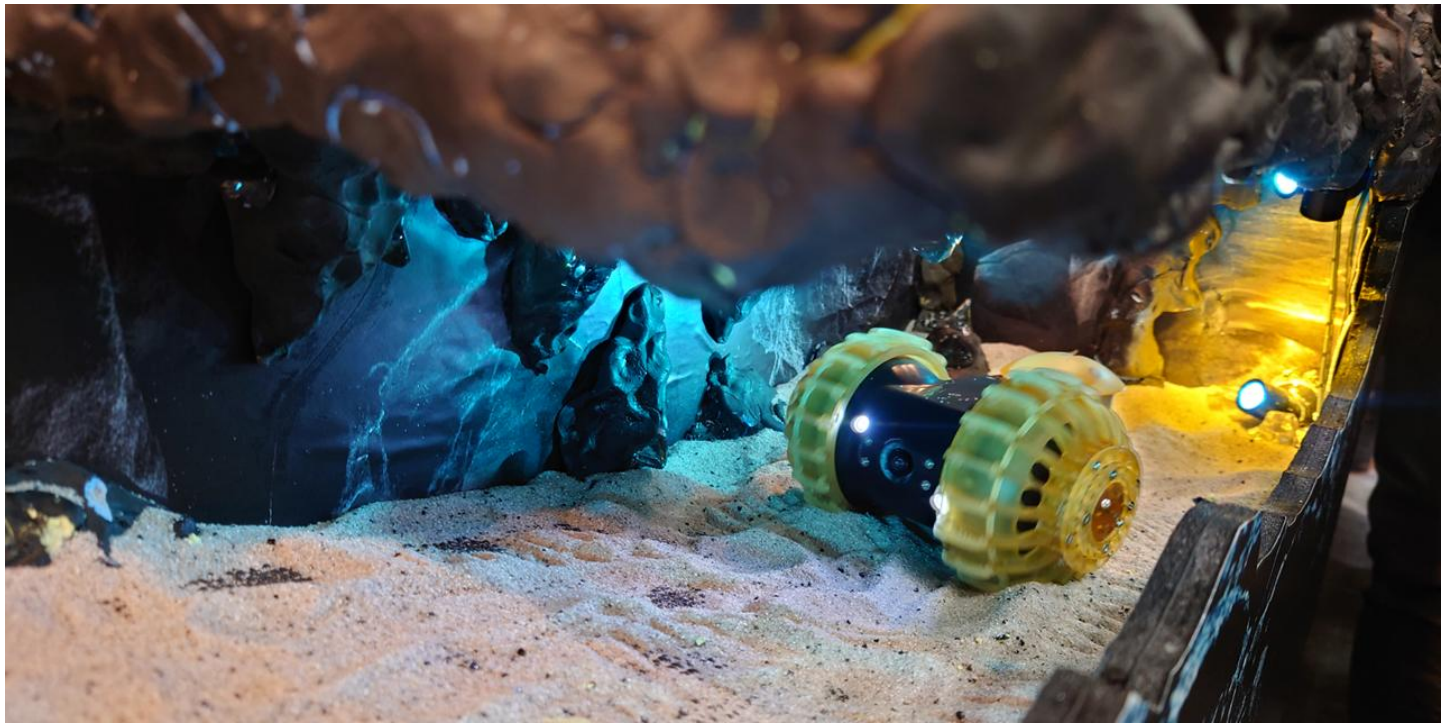
月面開発＝ロボット・自動化/自律化技術は必須

人間の活動が制限される場所。
ロボットによる遠隔化、無人化が必須。
基礎となる技術は、月面、地上共通。

月での無人による有人拠点建設作業



月面探査ローバー



目的と活動

目的

「月の開拓を早期に実現」
⇒ 参入障壁を下げ、各社の挑戦を促す。

課題

- 資金
- 機会
- メンバ（参画企業を増やす）

活動

我々の活動を広く公開し、課題を解決！
⇒ ハンドブック（検討すべき要件）を公開

現在地と将来



本編の作成(～2026)

- 日本勢のロボット。月面実証済み（SLIM LEV1/LEV2）
- 2025年までに、さらに実績が増やせた！（YAOKIなど）

→ もはや、完全に夢ではない！

2026年末までに公開

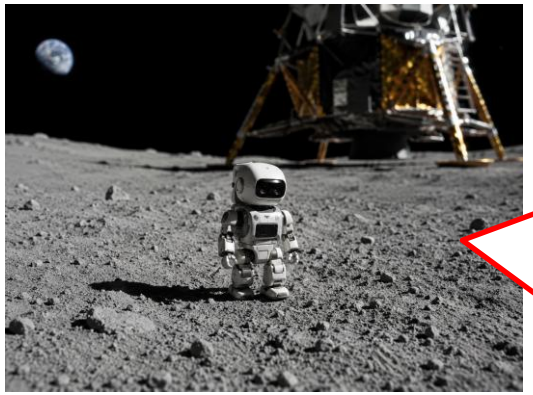
1 ハンドブックの作成と配布(～2023)

・本編の準備編。月面環境を知ってもらう
・将来（学生も含めて）の人材育成として
・日本宇宙少年団、全国の科学館、博物館で無償配布済

日本語版　英語版

2

3 このWGで月で動くロボットを開発



小型でもいいので、
世界に先駆けて
ヒューマノイドを月面
に

現在の状況

ハンドブック ～本編の執筆～

- 期間： 2026年中に公表

- 分量：情報量は、200page程度？
  - 概ね、ベースとなる原稿は完成済み。
  - 引き続き、最新の状況を取り込みつつ、推敲を重ねている。
  - 各種技術の進展により、以前よりも精度よく情報をまとめることができている。

今後の方針

- ハンドブックの作成は、年内中に終了させ、公開。

- **月面ヒューマノイド**をテーマとして、今後も継続検討をすすめる。
  各参加企業の知恵を絞りすすめていく。

- 引き続き、ご一緒頂ける企業様は、募集していく。
  本研究会 本WGをベースとして。

ご一緒いただける企業様を募集しております！